

期待される整備効果

①住民生活の利便性向上

三芳スマートICの東京方面への利用が可能となり、所沢ICまでの慢性的に渋滞している国道254号線等を回避でき、所要時間の短縮や利便性の向上が期待されます。また、高速道路利用が促進されることで、周辺道路の混雑緩和や物流等の定時制の確保がされます。



地理院地図(国土地理院(<https://maps.gsi.go.jp/>))をもとに、三芳町が加工

北永井地区⇒大泉 IC の所要時間

三芳スマート IC ハーフ整備

約 24 分

(距離 : 14.6km)

三芳スマート IC フル整備

約 14 分

(距離 : 14.5km)

約 10 分短縮

②地域の活性化

東京方面からの立ち寄りも可能となるため、町内観光施設への入り込み客数の増加や知名度の向上などが期待されます。また、令和5年7月に世界農業遺産に認定された「武蔵野の落ち葉堆肥農法」をはじめ、地元特産品や代表的文化財をより多くの人へ周知する機会として地域の観光振興へ大きく寄与します。

みよし野ガーデン里山探訪
(日本ガーデンツーリズム登録)



多福寺



旧島田家住宅



三芳町探検 MAP



三富開拓地割遺跡

落ち葉堆肥農法(世界農業遺産認定)



いも街道



③災害対策

首都直下地震対策の進出拠点として三芳PAへの迅速な集結が可能となります。また、入間基地の自衛隊の東京方面への流入が可能となり、迅速な救援活動につながります。